

十勝岳周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Tokachi Volcano

国土地理院

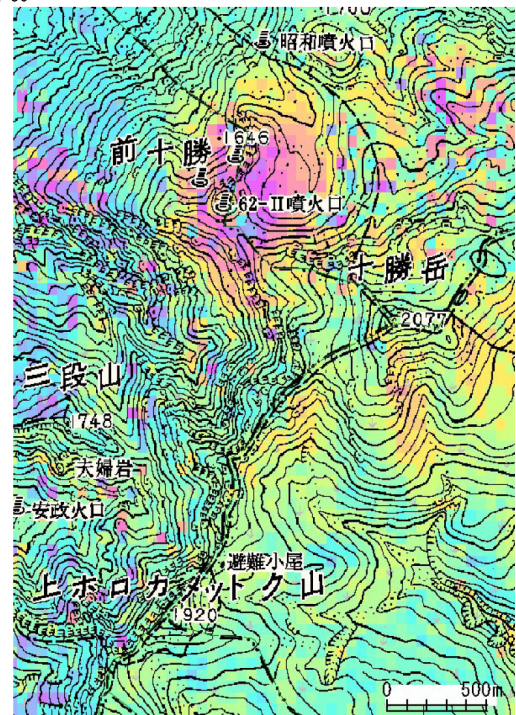
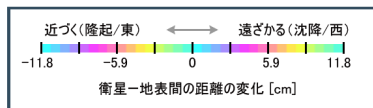
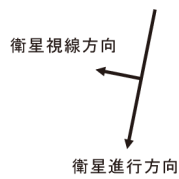
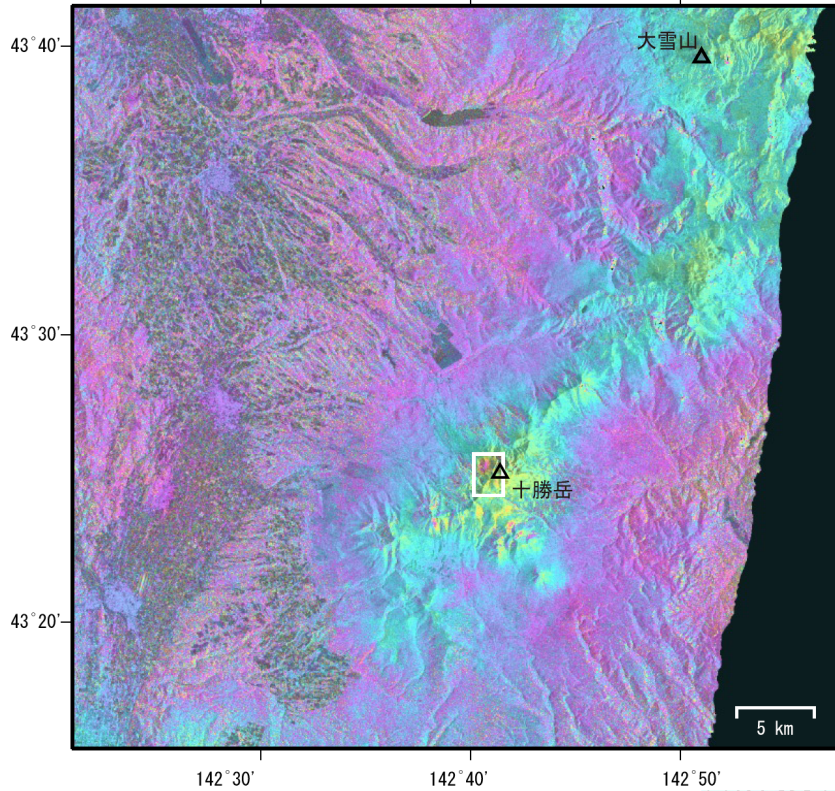
Geographical Survey Institute

第1図は、「だいち (ALOS)」PALSARによる十勝岳周辺のSAR干渉画像である。南行軌道で2006年9月24日と2008年8月14日のペアを取った解析結果であるが、火口周辺に地殻変動と思われる変化が検出された。上図の中央部白枠で囲った部分を拡大したものが右下図である。62-2火口付近を中心として、衛星に近づく向きに変動が見られる。変動域の直径が1km程度であることから、火口直下の浅い位置に膨張源が存在していると考えられる。

*2009年10月21日受付

<解析データ>

衛星/センサ : だいち (ALOS)/PALSAR (波長23.6cm)
 観測モード : 南行軌道, FBS, HH/FBS, HH
 オフナディア角34.3°
 観測日 : 2006/09/24 - 2008/08/14
 Bperp : -453 m



Analysis by GSI from ALOS raw data (c) JAXA, METI

第1図 「だいち」 PALSAR による十勝岳周辺の解析結果

Fig.1 Interferometric analysis of SAR acquired by "Daichi" PALSAR around Tokachi Volcano.